

動物に触れ患者笑顔

大江病院でふれあい体験会



病院前庭に設けられた乗馬など動物と触れ合うスペース

大江病院(帯広市西20南2、大江徹院長)で25日、「第5回動物とのふれあい体験会」が開かれ、入院患者と近隣住民ら約100人が乗馬などを楽しんだ。動物園などに行く機会が限られる入院患者に動物と触れ合う機会を提供。近隣

住民の参加で精神障害に対する理解を促す機会にしようと、音更のミニ牧場「馬遊館」などの協力で5年前から毎年開いている。病院の前庭には馬や羊、ウサギ、ニワトリなどが登場。患者らは馬に乗ったり、動物に触ったりして楽しん

でいた。普段はトイレに行くだけで疲労を訴えるような患者も、動物を前にする

と積極的に。認知症で入院している80代の女性は乗馬を体験し、「優しくしておとなしい馬で怖くなかった。馬が好きなのでとてもありがたい」と笑顔を見せていた。

(丹羽恭太)